

議会運営

日程 10/26 ~ 10/27

総務

日程 10/6 ~ 10/7

議会活性化  
特別委員会

福島県郡山市

郡山市議会は、平成25年12月議会に、議会の活性化、議会基本条例の制定を目的として議会活性化特別委員会を設置した。協議内容は定数・報酬・費用弁償・議員活動に関すること、議会活動の見える化についてなどで26回開催された。議会基



本条例は平成27年6月に全会一致で可決され、議会活性化特別委員会が解散となった。

**提言** 議会改革、議会の活性化に終わりはなく、議員一人一人が常に意識を持って取り組むことが重要である。

災害時の議会対応

宮城県石巻市

東日本大震災で大きな被害を受けた石巻市では、市内で大規模な災害が起きた場合に議会及び議員がとるべき基本姿勢として『石巻市議会災害対応指針』が作成された。また、市の災害対策本部と連携して対応に当たるため『石巻市議会災害対策会議設置要綱』を定めた。指針の基本方針では「市が災害対応に



全力で専念できるように必要な協力・支援を行う」、「議員から市への要望は、緊急の場合を除き、災害対策会議に提出すること」などを定めている。

**提言** 災害時に議会及び議員がどのような対応を取るべきか、深谷市議会でも議論をして災害対策の指針をまとめておく必要がある。  
(委員長 仲田 稔)

ウェルネスバレー  
構想

愛知県大府市

大府市は東浦町と共に同でウェルネスバレー構想を提唱し、健康長寿の一大拠点へと発展することを目指している。ここで生まれて良かった、ここで暮らしてきて幸せだったと思える「幸福社会」の実現に向けて、先駆的な取り組みを推進している。



**提言** 高齢化は避けられないが、健康寿命と平均寿命の差を少なくする計画は重要である。身体機能が低下しても動ける社会づくり等、高齢化をプラス思考で捉えた戦略は見習うべき。

定住促進プロモーション事業

大阪府高槻市

人口減少が市政や市民生活に及ぼす影響を予見し、市外向けに高槻市の住みよさをPRする事業（プロモーションビデオ作成や、FMラジオ活用等）に取り組んでいる。

**提言** まち・ひと・しごとプラン等の策定にあたっては、単に統計数値に捉われず、人口減少が市政や市民に及ぼす影響について検証



福祉文教

日程 10/6 ~ 10/8

産業建設

日程 11/4 ~ 11/6

スマートウェルネス  
すみしま構想

静岡県三島市

「健やかで幸せな『健康』都市」を目指し、スマートウェルネスすみしまアクションプランを策定。①健康づくり②いきがい・きづなづくり③地域活性化・産業振興に取り組んでおり、食と運動を通して「人の健康」づくりと地域の産業と協働の



相乗効果で市の活性化を図っている。

**提言** 健康は幸せの源、全ての事業に健康の視点を組み込む点は参考とすべき。三島市のように計画策定を委託せず職員が行うことで意識も高まり、事業の成功につながるのでは。

少子化対策事業

静岡県裾野市

裾野市では市を衰退させないために福祉分野と教育分野が横断した「少子化対策強化基本計画」を策定。本年度策定中の「まち・ひと・しごと総合戦略」で少子化対策は大きな柱となることから整合性を図り事業を展開している。

**提言** 少子化対策は複合的に行うことで効果



農産品等創出（フラック  
シユアッフ）支援事業

岐阜県岐阜市

製品化したイチゴのタブレットは、季節を問わないイチゴのPRや規格外品の有効活用を実現した。名称やデザインで岐阜女子短期大学が関わり、産官学が連携、6次産業の代表的な商品となった。

**提言** 農工商連携による6次産業化を促し、



低炭素なまちづくり

愛知県豊田市

とよたエコフルタウンは、次世代の環境技術を集約した全国初の低炭素社会モデル地区で視察が殺到。2030年までの再生可能エネルギー導入率30%という目標の達成を目指している。

**提言** 深谷市においては自然エネルギー推進計画を策定し、取り組んでいるが、低炭素社会都市構築を志向すべきである。

民間活力導入による  
中心市街地のまちづくり

静岡県藤枝市



選ばれるまち藤枝をコンセプトに、健康・環境・教育・危機管理の4Kを推進。コンパクトシティへの転換と中心市街地の核づくりに活性化基本計画を策定し推進している。

**提言** 中心市街地の整備と活性化をどう推進するか、今後も研究を深めていきたい。  
(委員長 為谷 剛)